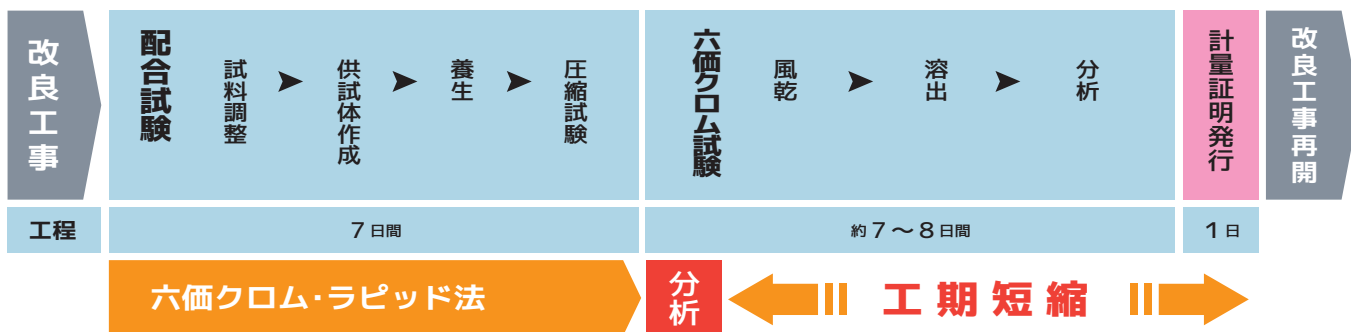


今すぐできる セメント地盤改良工法の 工期短縮



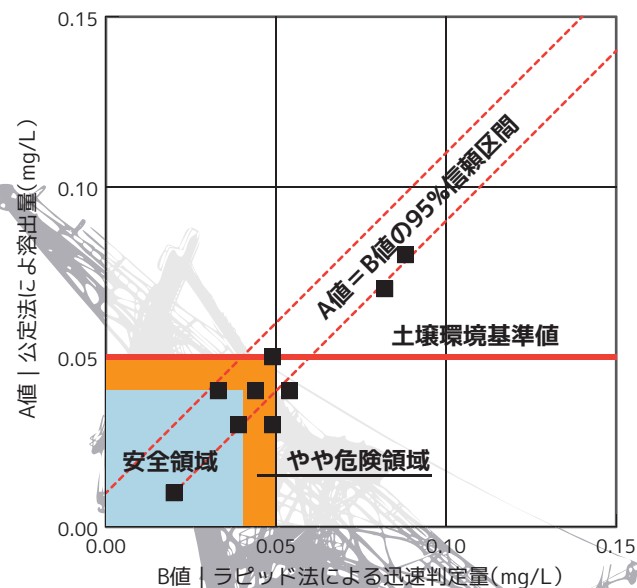
施工工程の悩みを解消

一般的なセメント改良工事ではセメント配合量を決定するために配合試験を実施し、土壤環境基準で定められる六価クロム溶出量の確定(公定法による正規分析、計量証明の取得)まで、約3週間の施工待ちが避けられない状況です。しかし、この手待ち期間が短縮できれば、工程短縮だけでなく人員や経費削減など様々な効果が得られます。



六価クロム・ラピッド法とは

六価クロム・ラピッド法(迅速判定法)は、六価クロム溶出試験を簡略化し短時間で「公定試験法による溶出量」に相当する溶出濃度を算出します。これまで約1週間かかる計量証明発行に先行して、翌日には溶出濃度を迅速判断するもので、これにより手待ち期間が大幅に短縮できます。なお、ラピッド法は公定法の代替や省略する試験ではありません。公定法の実施(計量証明書の取得)はこれまでどおり必須です。



▲ラピッド法と公定法の関係図(高い相関性を検証)

ラピッド法による効果

手待ち時間・全体工期の短縮

人員削減!
経費削減!
働き方改革!

